

網走市破碎リサイクル施設及び最終処分場維持管理業務
公募型プロポーザル

審査結果報告書

令和7年2月

網走市破碎・リサイクル施設及び最終処分場維持管理業務委託
公募型プロポーザル選定委員会

1. 本プロポーザルの経緯

(1) 概要

網走市が設置している最終処分場は、平成30年度の供用開始から計画を上回る埋め立てとなっており、このペースの使用では令和10年度中に満量になると推計されています。

令和6年3月には「網走市廃棄物最終処分場延命化計画」を策定し、廃棄物の減容化等による処分場の延命化を図っているところですが、併せて計画していた広域による中間処理施設の建設に遅れが見込まれており、さらなる延命化が求められています。

そこで、「破碎・リサイクル施設」と「最終処分場」を一体として、適切な維持管理の実施に加えて、最終処分場の延命化のため優れた技術力と経験を有する業者を募るため、「公募型プロポーザル方式」を採用し、選定の作業をすすめてきました。

(2) 公募型プロポーザル選定委員会

令和6年12月に「網走市破碎・リサイクル施設及び最終処分場維持管理業務委託公募型プロポーザル選定委員会（以下「選定委員会」という。）」を設置し、下記の10名の選定委員会委員により選定のための審査を行うこととしました。

【選定委員会委員】

委員長	後藤 利博	副市長
副委員長	田邊 雄三	市民環境部長
委員	牧 恒雄	東京農業大学名誉教授
委員	中丸 康夫	東京農業大学教授
委員	小西 正朗	北見工業大学教授
委員	中村 研二	釧路公立大学教授
委員	秋葉 孝博	企画総務部長
委員	立花 学	建設港湾部長
委員	寺口 貴広	生活環境課長
委員	石塚 貴子	生活環境課清掃リサイクル係長

(3) 実施スケジュール

No.	内 容	日 程
1	実施要領の公表	令和6年12月24日（火）
2	施設見学会	令和7年1月7日（火） ～1月8日（水）
3	参加表明書等に関する質問の受付締め切り	令和7年1月9日（木）
4	参加表明書等に関する質問への回答	令和7年1月15日（水）

No.	内 容	日 程
5	参加表明書等の提出期限	令和7年1月21日（火）
6	参加資格確認結果の通知	令和7年1月23日（木）
7	企画提案書等の提出期限	令和7年2月13日（木）
8	ヒアリング審査等の実施日	令和7年2月19日（水）
9	審査結果の通知	令和7年2月21日（金）
10	審査結果の公表	令和7年2月25日（火）
11	契約予定時期	令和7年3月上旬

（４）参加資格審査

参加表明書の提出期限である令和7年1月21日までに、2者から参加表明書等の提出がありました。

この提出された書類について、プロポーザル実施要領に基づき、審査を行った結果、参加表明のあった2者を、プレゼンテーション及びヒアリング審査の対象者として選定しました。

（５）プレゼンテーション及びヒアリング審査

プレゼンテーション及びヒアリング審査対象者として選定された2者より令和7年2月13日までに企画提案書等の提出があり、令和7年2月19日にプレゼンテーション及びヒアリング審査を行いました。

審査の内容については、企業評価、業務実施体制及び企画提案について、各委員が妥当性、的確性、経済性等の観点から評価しました。

プレゼンテーション及びヒアリング審査終了後に、選定委員会による最終審査を行い、最優秀提案者（受託候補者）及び優秀提案者（次点者）を選定しました。

<企画提案内容>

- ・ 効率的な施設運営、人員の配置
- ・ 破碎・リサイクル施設における減容効果
- ・ 最終処分場における減容効果
- ・ 独自の技術提案

2. 審査結果

応募者名	総合評価点
A者	851点
B者	704点

最優秀提案者（受託候補者）：A者 愛和産業株式会社

優秀提案者（次点者）：B者 シティ環境株式会社

3. 審査講評

網走市破砕リサイクル施設及び最終処分場維持管理業務委託に係る受託者の選定は、参加資格審査とプレゼンテーション及びヒアリング審査の2段階で行いました。

参加資格審査では、2者から参加表明書の提出があり、提出された書類に基づき各者の事業者概要、業務実績等について評価を行いました。この結果、2者をプレゼンテーション及びヒアリング審査の対象として選定いたしました。

プレゼンテーション及びヒアリング審査では、企画提案に基づき10名の委員が質疑を行い、各者の提案内容を評価いたしました。

評価は、企業評価、業務実施体制、企画提案内容、参考見積額等に沿って、業務の実施体制、緊急時の対応、従事者管理、最終処分場の延命化に関する技術提案の妥当性、的確性、実現性について厳正なる審査を行いました。

各者からは、独自の技術提案を含めてさまざまなご提案をいただき、人員配置や作業動線の工夫、破砕・リサイクル施設及び最終処分場における減容化策など、多くの貴重なご提案をいただくことができました。

プレゼンテーション及びヒアリング審査終了後、各委員が評価を行い、最優秀提案者（受託候補者）及び優秀提案者（次点者）を選定いたしました。

最優秀提案者（受託候補者）となりました愛和産業株式会社は、自社所有の最終処分場を維持管理してきた経験に基づく、減容化策の実施方法や取組体制が具体的な提案となっており、高い評価となりました。

優秀提案者（次点者）からも、最終処分場の実態を踏まえた優れたご提案をいただきましたが、相対的に最優秀提案者が高く評価される結果となりました。

終わりに、本プロポーザルにご参加いただいた各事業者におかれましては、貴重な時間を費やし真摯に努力いただきましたことに対し、心から感謝申し上げます。

網走市破砕・リサイクル施設及び最終処分場維持管理業務委託
公募型プロポーザル選定委員会 委員長 後藤 利博